

第3学年

学年通信

練馬区立上石神井中学校
令和6年10月1日(火)

No.16 発行者：石坂恵理

平和のセレモニーの発表を行います

長崎修学旅行で行った「平和のセレモニー」・・・実際に長崎を訪れたことで、皆さんの思いにも変化があったことと思います。

修学旅行を終えて、3年生の皆さんが書いた作文や事後学習には、「平和な未来を築ける人になりたい」「もっともっと学習して、平和のバトンを未来へ繋いでいきたい」というような思いがあふれていました。

そこで、平和への祈りを込めて、「平和のセレモニー」をバージョンアップさせました。3年生の皆さんが書いたメッセージを、井上 美月さん、田中 優有さんがまとめました。夏休みから始めて、何度も修正を加え、素晴らしい作品が仕上がりました。3年生全員の思いを込めて、代表生徒がメッセージを発表しますので、当日を楽しみにしてください。

(以下、敬称略)

【メッセージ作成】 3年生生徒全員

【メッセージまとめ】 井上 美月 田中 優有

【BGM担当】 岡田 美亜 谷口 侑人 藤里 楽

【メッセージ朗読】

綾部 莉瑚	石倉 旦	井上 美月	木谷 海陽
小林 陸都	齊藤 りな	田中 智基	田中 優有
石塚 大翔	市原 叶	木下 琥大朗	杉浦 至
杉村 要	鈴木 光有希	鶴見 龍也	福井 咲彩
谷治 凜好	吉澤 瑚子	若村 栄吾	渡邊 賢
和田 淳平	加納 季楓	久保田 涼生	杉山 果凜
菱田 菜穂子	吉岡 佑起		

JICAエッセイコンテスト応募作品の紹介

*今年の夏休み、3年生は課題作文の宿題はありませんでしたが、自主的にJICAエッセイコンテストに応募した生徒がいました。紙面の都合で全てを紹介することはできませんが、3年間私たちが学んできたことと関連する大変すばらしい内容なので、一部を紹介します。

「音楽がもたらす平和 ～国と国を繋ぐ架け橋になれ～」

太平洋戦争が終わって79年経った今、私は平和な環境の中で生活をしている。しかし、今もなお世界各地で戦争、内戦が起き、多くの命が奪われ続けている。戦争が起こる主な原因として、異なる宗教を信仰する「民族同士の争い」、領土を自国のものだと主張し合う「国同士の争い」などがある。戦争が起きる理由はどちらも「話し合いではなく武力で解決しようとする」からだとは私は考える。では、戦争をなくし、平和に生きるために私たちは何ができるだろうか。

私は「音楽」が戦争をやめようと思うきっかけになるのではないと思う。例を挙げたい。先日のパリオリンピックのビーチバレー女子決勝戦で、試合中盤、ブラジルとカナダの選手がネット越しに激しい口論を始めた。事態はなかなか収束しない。そこで、スタジアムのDJがLove & Peaceの曲で知られるジョン・レノンの「Imagine」を流したのだ。すると、驚いたことに、会場中に観客の大合唱が起き、両国の選手の表情も笑顔に変わり、口論が収まり、試合が再開されたのだ。

このニュースを見たとき、私は感動した。音楽には人の心に安らぎを与え、異なる背景をもつ人の心をつなぎ、考えを変える力があるのだ。音楽は国境を越え、平和をもたらすことができるのだ。

今を生きる私たちは、世界で起きていることに目を向け、なぜ争いが起きたのかを知る必要がある。そして、互いをよく理解すれば、きっと争いがなくなり、誰もが平和に暮らせるということを世界に発信していく必要があると思う。平和は互いの文化や風習を理解しようと努力するところから生まれるのかもしれない。

SNSが普及した今、私たちは音楽を世界中に音楽を通して平和を歌ってかけることができる。音楽で直接的に戦争を終わらせることは難しいかもしれないが、人々の意識を平和的解決へ向けることはできるのではないだろうか。

その、互いを理解する手段のひとつとして、「音楽」が人と人をつなぎ架け橋になると信じている。

